

アルゼンチン西原町人会創立60周年記念式典

アルゼンチン西原町人会の創立60周年記念祝典が、7月31日にアルゼンチン沖縄県人連合会館大ホールで盛大に開催されました。

祝典では、與那嶺義勝会長が移民の歴史や本会創立の経緯を振り返りながら感謝の意を述べ、引き続き母町である西原町との交流や次世代を担う人材の育成に力を注ぐと挨拶をしました。また、上間明町長、新川喜男町議会議長からの祝辞や功労者への感謝状が伝達されました。

祝典終了後は、祝賀演芸会が催され、西原町で研修を受けた子弟らを中心にエイサーや琉球舞踊等の余興が披露されました。



式典の様子



式典の様子



祝賀演芸会

文化財 だより

アルゼンチン
アルゼンチンへの移民は、ペルーに移住していた小波津次良さんが1909年(明治42年)に転住したのが最初です。当時アルゼンチンは南米で1、2を争う先進国ともいわれて

ブラジル
ブラジルへの移民は、1908年(明治41年)に日本本土からの第1回移民と一緒に渡航したのがはじまりです。それ以後、日本政府の渡航禁止などの制限を受けながらも、戦前、700人以上の移民がブラジルへと渡りました。ブラジルへの移民は契約によるものが多く、3人以上の家族構成でコーヒー園などで働いていました。それから、在伯(ニブラジル)沖縄県人会の活動により沖縄県人が広いブラジルの各地に根付いていき、1973年(昭和48年)に西原町人会が発足しました。現在、西原町人は、サンパウロを中心に、農業、商業、縫製業、医者、弁護士などさまざまな職業分野で活躍しています。

西原村からブラジルへの移民ランキング

- トップ3(1904~1941)
- 1位 小波津 114人
 - 2位 我 謝 54人
 - 3位 翁 長 36人

西原村からアルゼンチンへの移民ランキング

- トップ3(1904~1941)
- 1位 小那覇 37人
 - 2位 呉 屋 13人
 - 3位 翁 長 12人



これまで、全4回にわたって西原の海外移民の歴史を各移民先にスポットを当てて紹介してきましたが、来る10月28日に「第6回世界のニシハランチュの集い」が開催されます。西原を飛び出し、各国で活躍するニシハランチュが5年ぶりに集います。ぜひ、これを機に、国境を越えた絆・友情を育みましょう。多くのおみなさまのご参加をお待ちしております。

世界のニシハランチュの集い

第4回 輝く世界のニシハランチュ



2016.10.26Wed▶30Sun
第6回世界のウチナンチュ大会



5年ぶりに世界のニシハランチュが集う!

第6回 世界のニシハランチュの集い

歓迎レセプション

日時 10月28日(金) 18:00~20:30
場所 エリスリーナ西原ヒルズガーデン
申込 参加希望者は、生涯学習課でチケット(2,000円)をご購入ください。

ハワイ州知事挨拶、各国西原町人会代表者挨拶、余興(古典音楽、琉球舞踊、フラダンス、エイサーを予定)、記念仕次ぎ、カチャーシー等

集いまであと
27日
10月1日時点

海外移民展

戦前・戦後にかけて海外に移住した西原町(旧西原村)の移民と海外の文化について、展示を行います。世界で活躍するニシハランチュや移住者の母町に対する思いを紹介します。

日時 10月26日(水)~31日(月) 8:30~20:00
場所 西原町町民交流センター 町民ギャラリー(西原町役場内)

入場無料!

【お問い合わせ】 西原町教育委員会 生涯学習課 生涯学習振興係 ☎945-5036

わたしたちもニシハランチュの集いに参加します!

西原町はかつて、多くの住民が海外に移住した「移住母町」です。そこで、海外移住者子弟の研修生を受け入れ、技術などの習得や町民との交流を通して人材を育成し、移住国と西原町との友好親善を図ることを目的に「西原町海外移住者子弟研修生受入事業」を実施しています。今年度は3人が来町しています。



氏名: 新里 マルコス アキラ 国籍: ブラジル
趣味: 太鼓、カラオケ 学びたい: 沖縄の文化、土木技術

沖縄についたら自然に涙が出てきました。とても長く沖縄に来ることができなかったからです。沖縄に着くと先祖のことを考えました。僕は、ぐあんす(ルーツ)の思い出のあるこの場所です。たくさん学びたいと思います。わたしは沖縄の文化について学びたいです。そして、沖縄とのより強い絆をつくりたいです。



氏名: 城間 呉屋 カリーナ ジゼル 国籍: ペルー
趣味: 沖縄の歌、三線 学びたい: 沖縄の歌、三線、紅型、太鼓、踊り

わたしはペルーの研修生として9月から西原町に来ましたが、沖縄や西原町の文化・習慣は小さい頃からおいしいちゃんとおばあちゃんから聞いていました。祖父母の世代は苦勞して、沖縄の家族を支援して、ペルーの家族も助けてきました。また世代を超えて習慣と伝統を維持、継承して今の私たちがいます。だから祖父母は、私が故郷の沖縄に来て嬉しいと思っています。ニフェデービル



氏名: 知念 与那嶺 マリア セレステ 国籍: アルゼンチン
趣味: 演歌、日本舞踊 学びたい: 西原の歴史

わたしは、アルゼンチンから来ました。沖縄は、聞いていた話よりも美しいです。趣味は、日本の歌と踊りでアルゼンチンの日系イベントに参加したりしています。なので、この研修では、沖縄の歌と踊りはもちろん、習慣や祖父母の故郷の歴史を学びたいです。